

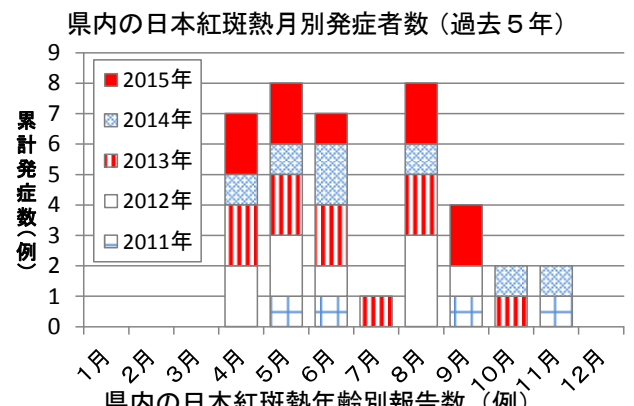
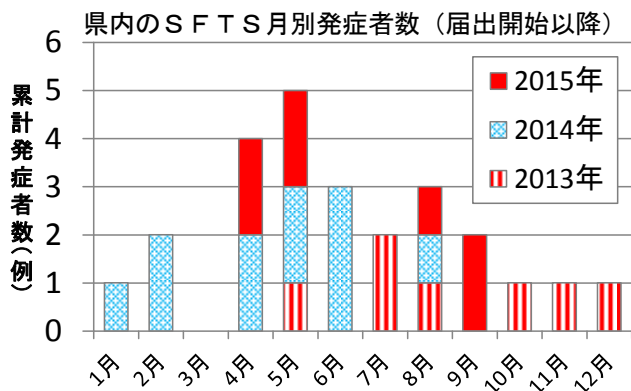
# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第43週の発生動向

### トピックス (マダニ媒介性感染症)

- ・**重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)** (全数報告の感染症) の届出が日南保健所管内で1例あった。県内での報告は今年7例目、累計26例目となった。患者は60歳代男性で、9月下旬に発症した。ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。
- ・**日本紅斑熱** (全数報告の感染症) の届出が宮崎市保健所管内で2例あった。県内での報告は今年9例目となった。ダニの刺し口ありが1例、確認できずが1例であった。



県内のSFTS年齢別報告数 (例) (届出開始前の1例含む)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代~
1	1	2	7	6	8	1

県内の日本紅斑熱年齢別報告数 (例)

(2015年 1~43週)					
5~9歳	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	2	2	1	1

### 全数報告の感染症 (43週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症4例。  
 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱2例。  
 5類感染症：後天性免疫不全症候群1例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型、病名	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	頸部リンパ節結核	リンパ節腫脹
			40歳代	男	肺結核	胸痛
		都城	50歳代	女	右頸部リンパ節結核	症状なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	5~9歳	女	—	症状なし、O103(VT1産生)
			30歳代	女	—	症状なし、O血清群不明(VT1産生)
			30歳代	男	—	症状なし、O103(VT1産生)
		日南	60歳代	女	—	症状なし、O91(VT1産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	60歳代	男	—	発熱、下痢、食欲不振、血小板減少、刺し口
	日本紅斑熱	宮崎市	5~9歳	男	—	発熱、頭痛、発疹、腹痛
			70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、嘔気、息苦しさ
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30歳代	男	AIDS	リンパ節腫脹 指標疾患：活動性結核
	破傷風	宮崎市	80歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣、強直性痙攣、呼吸困難(痙攣性)、易興奮性 破傷風ワクチン接種歴：不明

□ 定点把握の対象となる5類感染症

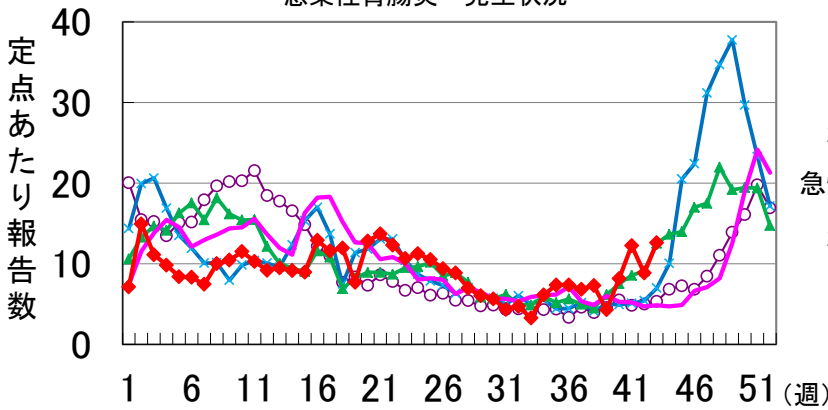
・定点医療機関からの報告総数は792人(定点当たり26.6)で、前週比119%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と伝染性紅斑と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性角結膜炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

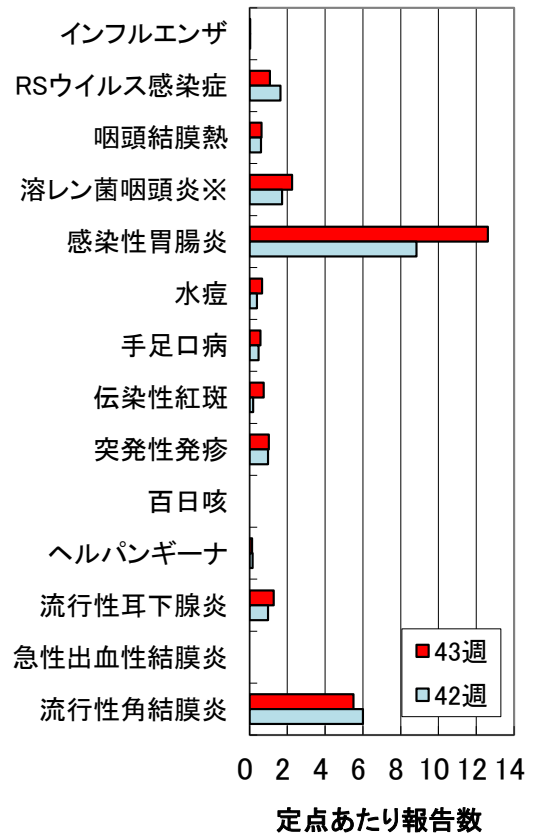
【感染性胃腸炎】

・報告数は454人(12.6)で、前週比143%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(7.2)の約1.8倍であった。小林(38.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1~4歳が全体の約半数を占めた。

\*過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値。  
感染性胃腸炎 発生状況

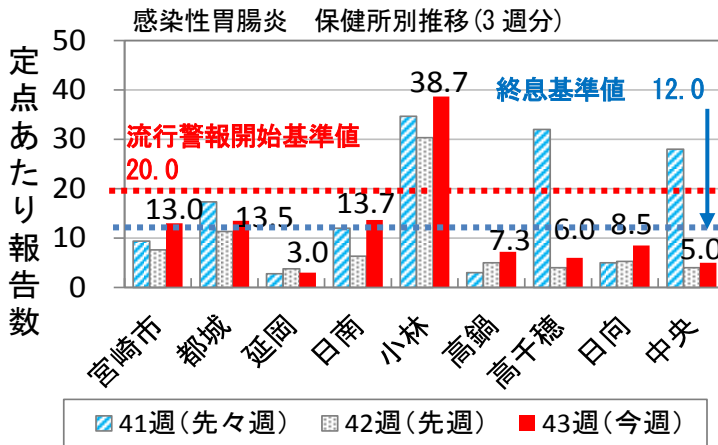


《前週との比較》

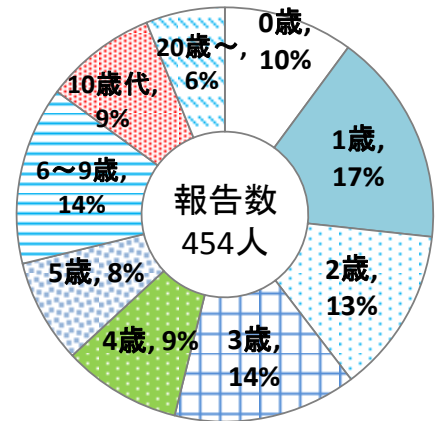


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

○ 2011年    △ 2012年    □ 2013年    ◆ 2014年    ● 2015年



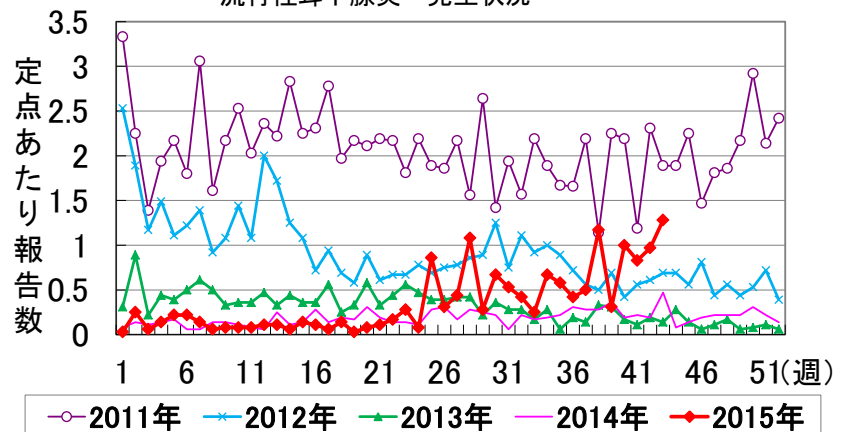
感染性胃腸炎 年齢別割合(43週)



【流行性耳下腺炎】

・報告数は46人(1.3)で、前週比131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.1)の約1.2倍であった。小林(5.7)、延岡(4.8)保健所からの報告が多く、年齢別では3~4歳が全体の約4割を占めた。

流行性耳下腺炎 発生状況

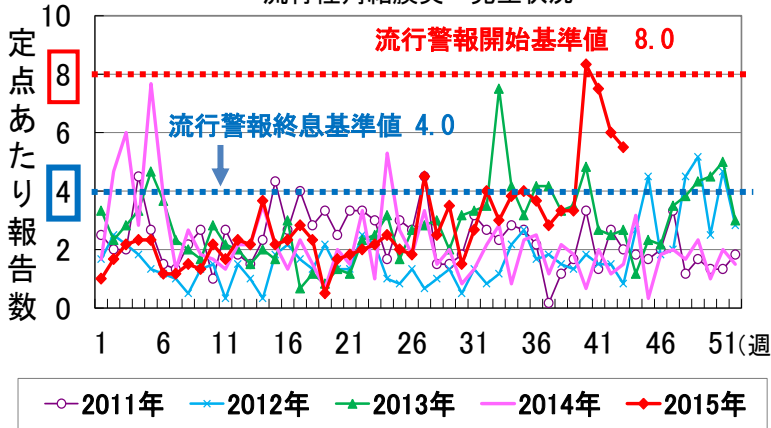


★眼科定点からの報告★

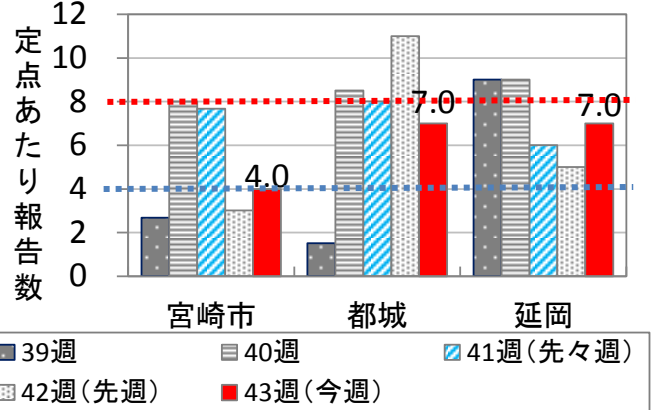
【流行性角結膜炎】

・報告数は33人(5.5)で、前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.1)の約2.6倍であった。

流行性角結膜炎 発生状況



流行性角結膜炎 保健所別推移(5週分)



★基幹定点からの報告★

報告なし。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
延岡	流行性耳下腺炎(4.8)
小林	感染性胃腸炎(38.7)、流行性耳下腺炎(5.7)
宮崎市、都城 日南、高鍋、 高千穂、日向、中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値\*

・感染性胃腸炎(20.0)

\* 流行注意報レベル基準値\*

・流行性耳下腺炎(3.0)

📌 全国第42週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第42週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	261例				
3類感染症	コレラ	1例	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	32例
	パラチフス	1例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	4例	エキノコックス症	1例
	重症熱性血小板減少症候群	1例	デング熱	5例	日本紅斑熱	5例
	マラリア	2例	ライム病	1例	レジオネラ症	29例
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	14例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	16例	水痘(入院例)	1例	梅毒	23例
	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例	風しん	1例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比92%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は3,861人(1.2)で前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.82)の約1.5倍であった。山形県(4.6)、福島県(3.8)、宮城県(2.5)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第43週(10月19日～10月25日)

疾病名		第42週	第43週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	2			1		1				
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.14	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	59	39	12	4	5	6		5		7	
	定点あたり	1.64	1.08	1.20	0.67	1.25	2.00	0.00	1.25	0.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	23	2	9	2	1		1	1	7	
	定点あたり	0.61	0.64	0.20	1.50	0.50	0.33	0.00	0.25	1.00	1.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	62	81	13	11	15	5	3	4	2	27	1
	定点あたり	1.72	2.25	1.30	1.83	3.75	1.67	1.00	1.00	2.00	6.75	1.00
感染性胃腸炎	報告数	318	454	130	81	12	41	116	29	6	34	5
	定点あたり	8.83	12.61	13.00	13.50	3.00	13.67	38.67	7.25	6.00	8.50	5.00
水痘	報告数	14	24	8	2	7				1	6	
	定点あたり	0.39	0.67	0.80	0.33	1.75	0.00	0.00	0.00	1.00	1.50	0.00
手足口病	報告数	17	21	3	1	3	2		3		8	1
	定点あたり	0.47	0.58	0.30	0.17	0.75	0.67	0.00	0.75	0.00	2.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	7	27	18	5		2		2			
	定点あたり	0.19	0.75	1.80	0.83	0.00	0.67	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	35	37	12	3	8	3	2	4		5	
	定点あたり	0.97	1.03	1.20	0.50	2.00	1.00	0.67	1.00	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	5	2		1			2			
	定点あたり	0.17	0.14	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	35	46		4	19		17	1		5	
	定点あたり	0.97	1.28	0.00	0.67	4.75	0.00	5.67	0.25	0.00	1.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	36	33	12	14	7						
	定点あたり	6.00	5.50	4.00	7.00	7.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～43週)

2類感染症	結核	174例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	105例(4)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	7例(1)
	つが虫病	3例	デング熱	1例	日本紅斑熱	9例(2)
	マラリア	1例	レジオネラ症	4例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	15例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	8例(1)				

( )内は今週届出分、再掲